

2012年G20雇用労働大臣会合 議題及び結論文書の概要

1. 会合の議題

この会合では、議長国メキシコが提案する「3つの議題」に基づき、雇用・労働政策に関する議論が行われた。会合結果は、G20首脳への勧告として取りまとめ、本年6月のG20ロスカボス・サミットに提出。

◆「3つの議題」

1. 質の高い雇用の創出
2. 若年者雇用の促進
3. 質の高い雇用を生み出すグリーン成長

2. 結論文書

結論文書の構成は、以下のとおり。

(1) 前文

雇用が成長政策の核心であるべきとのカンヌ・サミットでの首脳宣言や昨年G20雇用労働大臣会合（パリ）での合意事項を再確認。

(2) 質の高い雇用の創出

- 「ディーセント・ワーク（人間らしい働きがいのある仕事）」を目指し、雇用、社会的保護、社会的対話及び労働における基本原則と権利を十分に尊重する。
- 職業訓練を提供し、労働者のスキルを市場ニーズに適合させ、公共職業サービスを改善する等の努力を続ける。
- 社会的保護の床を発展させ、労働市場政策との適切な均衡を達成する。
- フォーマル・セクターにおける雇用を増やし、生産性と質の改善を図る。
- 社会政策、経済政策、環境政策等の政策の一貫性を確保する。
- 雇用労働大臣会合のプロセスの一部として定例的な労使コンサルテーションを引き続き行う。

(3) 若年者雇用の促進

- 若年者雇用問題を重要視し、これに対するコミットメントを強化する。
- 若年者雇用に関するタスクフォースの成果を踏まえた対応をとる。
例：他国の成功事例の活用、質の高い実習制度の促進、起業支援、国際機関との協働等

(4) 質の高い雇用を生み出すグリーン成長

- グリーンな経済への移行を図るため、関係者が高いレベルで連携する。
- 公共職業サービスによる求職サービス、労働市場の情報、訓練機会を提供する。
- 中小企業がグリーン成長の一部であることを確保する。
- グリーン技術の国家間、企業間の移転を考慮する。

(5) 今後の道筋

- 我々は、本結論に含まれる提案や取組みを首脳に示し、その検討に供する。すなわち、経済成長は質の高い雇用に基づくべきこと、若年者等脆弱なグループへの対応、包括的なグリーン成長が雇用創出をもたらす、同時に新しいスキルを必要とすることへの同意。

- 我々は、成長と雇用、経済政策と雇用政策の一貫性が重要であるとの観点から、首脳に対し G20 財務大臣と雇用大臣の間の協力の強化を提言する。
- 若年者雇用の問題は、社会的保護の床や持続的な成長に影響する可能性があることを首脳が留意することを求める。
- ベスト・プラクティスの交換等雇用タスクフォースの成果について、首脳の注意を喚起する。
- 雇用タスクフォースの設置期間を 1 年延長し、そのテーマは 2013 年の議長国ロシアの主導の下に決定され、次回の大蔵会合へのインプットを提供することを支持するよう首脳に求める。
- 今会合での労使対話の重要性を認識する。2012 年の L20、B20 の会合を歓迎する。
- 次回会合は、2013 年にロシアが議長国となって開催することに合意。

(了)